

働く世界のしくみとルール

——労働法入門

小西康之

担当編集から 社会や技術の変化・進展に伴って、働き方や、働くことについての意識もまた、変化し多様化しています。ただ、働くときは安心して働きたいという気持ちは、いつの時代も変わらないのではないのでしょうか。

本書は、そんな安心につながる一冊となるよう書かれた労働法の入門書です。「働く」に関するしくみとルールはどのように形づくられているのか、それはどんな困りごとに対応するためにそうなっているのか、その要点が、働き方やさまざまな場面ごとにやさしくわかりやすく説明されています。最近のトピックもたくさん盛り込まれていますので、今の状況を知ることができるだけでなく、これからどうなっていくのが望ましいのかを考えるきっかけともなるはずです。

法学部等で労働法を学ぶ方はもちろん、働く中で法律について知りたいと思っている方など、「働く」に関わるすべての皆さんに手にとっていただけたらと思います。(三宅)



レベル — 用途 — 対象 —
初級 学習 教養 学部 一般

2024年4月発売 / 322頁 / 定価2970円(税込)
四六判 / 並製



BOOK INFORMATION

Point 9人の登場人物のストーリーを通じて、具体的にイメージしながら読み進められます。

プロローグ

I 働くことと法制度

- 1 働くことと法のネットワーク
- 2 働く世界のしくみとルールの成り立ち

II 働く人のプロフィール——あなたは？

- 1 正社員で働く
- 2 アルバイト・パートで働く
- 3 派遣で働く
- 4 雇われずに働く
——保護されるのはどんなひと？
- 5 働いてもらう
- 6 国際的に働く
- 7 仕事をかけもちする
- 8 公務員として働く

III 会社で働く

- 1 さまざまなルール——労働条件の決まり方

- 2 就活する / 入社する
- 3 みんなそれぞれ尊重される
- 4 賃金をもらう
- 5 仕事の時間
- 6 仕事をしない時間
- 7 安全に健康に働く
- 8 変更される / 処分を受ける
- 9 会社をやめる
- 10 再び仕事につく

IV ひとりで悩まない

- 1 労働組合に入る
- 2 団体で交渉する
- 3 団体で行動する
- 4 公的機関を利用する

エピローグ

小社ウェブサイトの本書のページに資料を掲載していますので、あわせてご覧ください。

